

「これまでの議論の整理
～教育改革の進捗状況と獣医師養成の在り方について～」
参考資料（抜粋）

- 獣医学関係学部研究科一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 獣医師の就業動向の現状、獣医学部・学科の新規卒業者の就業動向の推移
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 入学率と就職率との関係についての分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 農業共済団体の獣医師採用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 犬猫の飼育頭数の推移（推計）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 産業動物飼養の動向について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 平成19年農林水産省「獣医師の需給に関する検討会」報告書（まとめの
概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

獣医学関係学部・研究科一覧

区分	大 学				大 学 院		
	大 学 名	学 部 名	学 科 名 等	入 学 定 員	研 究 科 名	専 攻 名	博 士 課 程 入 学 定 員
共同 獣医学 課程	北 海 道	獣 医	共 同 獣 医	40	獣 医 学	獣 医 学	24
	帯 広 畜 産	畜 産	共 同 獣 医	40	(岐阜大学連合獣医学研究科に参加)		
共同 獣医学 科	岩 手	農	共 同 獣 医	30	(岐阜大学連合獣医学研究科に参加)		
	東 京 農 工	農	共 同 獣 医	35	(岐阜大学連合獣医学研究科に参加)		
国立	東 京	農	獣 医	30	農学生命科学	獣医学	13
共同 獣医学 科	岐 阜	応用生物 科 学	共 同 獣 医	30	連 合 獣 医 学	獣 医 学	20
	鳥 取	農	共 同 獣 医	35	(山口大学連合獣医学研究科に参加)		
共同 獣医学 部	山 口	共 同 獣 医	獣 医	30	連 合 獣 医 学	獣 医 学	12
	鹿 児 島	共 同 獣 医	獣 医	30	(山口大学連合獣医学研究科に参加)		
	宮 崎	農	獣 医	30	医学獣医学 総 合	医学獣医学	23の内数
	小 計				330	小 計	
公立	大 阪 府 立	生 命 環 境 科 学	獣 医	40	生 命 環 境 科 学	獣 医 学	13
私立	酪 農 学 園	獣 医	獣 医	120	獣 医 学	獣 医 学	3
	北 里	獣 医	獣 医	120	獣 医 畜 産 学	獣 医 学	3
	日 本	生 物 資 源 科 学	獣 医	120	獣 医 学	獣 医 学	6
	日 本 獣 医 生 命 科 学	獣 医	獣 医	80	獣 医 生 命 科 学	獣 医 学	8
	麻 布	獣 医	獣 医	120	獣 医 学	獣 医 学	10
	小 計				560	小 計	
合 計 (16大学)				930	合 計 (宮崎大学除く)		112

(注1) 数値は、平成24年4月1日現在の数値。

(注2) 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科については、医学獣医学専攻の中に高度獣医師養成コースを設置。
(文部科学省調べ)

【1. 獣医師の就業動向の現状】

○ 小動物獣医師は全体の約40%で平成10年から10%増加。公務員獣医師は全体の約25%、産業動物獣医師は約13%で、平成10年からそれぞれ6%、4%ずつ低下。

① 獣医師の就業動向（獣医師法に基づく届出）

（平成23年5月現在）（人）

総数 (%)	公務員獣医師		診療獣医師		会社・ 研究所等	その他	非従事者		
	うち 農林畜産 (畜産・ 家畜衛生)	うち 公衆衛生	うち 産業動物医 (農林団体・ 個人開業等)	うち 小動物診療					
35,379 (100%)	8,861 25 (%)	3,457 10 (%)	5,028 14 (%)	17,901 51 (%)	4,497 13 (%)	13,271 38 (%)	3,781 11 (%)	637 2 (%)	4,274 12 (%)

《平成10年の状況》

29,643 (100%)	9,294 31 (%)	3,900 13 (%)	4,785 16 (%)	13,452 45 (%)	5,030 17 (%)	8,369 28 (%)	2,850 10 (%)	297 1%	3,750 13 (%)
------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------	-----------------

※ 市町村の家畜診療所の獣医師数は公務員獣医師・産業動物の双方に計上

② 獣医系学部・学科の新規卒業者の就業動向（[家畜衛生週報]をもとに文科省作成）

（平成24年5月現在）（人）

総数 (%)	公務員獣医師		診療獣医師		会社・ 研究所等	その他 (研修医 等)	未定者 *受験準 備等含 む)		
	うち 農林畜産 (畜産・ 家畜衛生)	うち 公衆衛生	うち 産業動物医 (農林団体・ 個人開業等)	うち 小動物診療					
1,076 (100%)	203 19 (%)	87 8 (%)	89 8 (%)	551 51 (%)	92 9 (%)	461 43 (%)	105 10 (%)	96 9 (%)	121 11 (%)

《平成10年の状況》

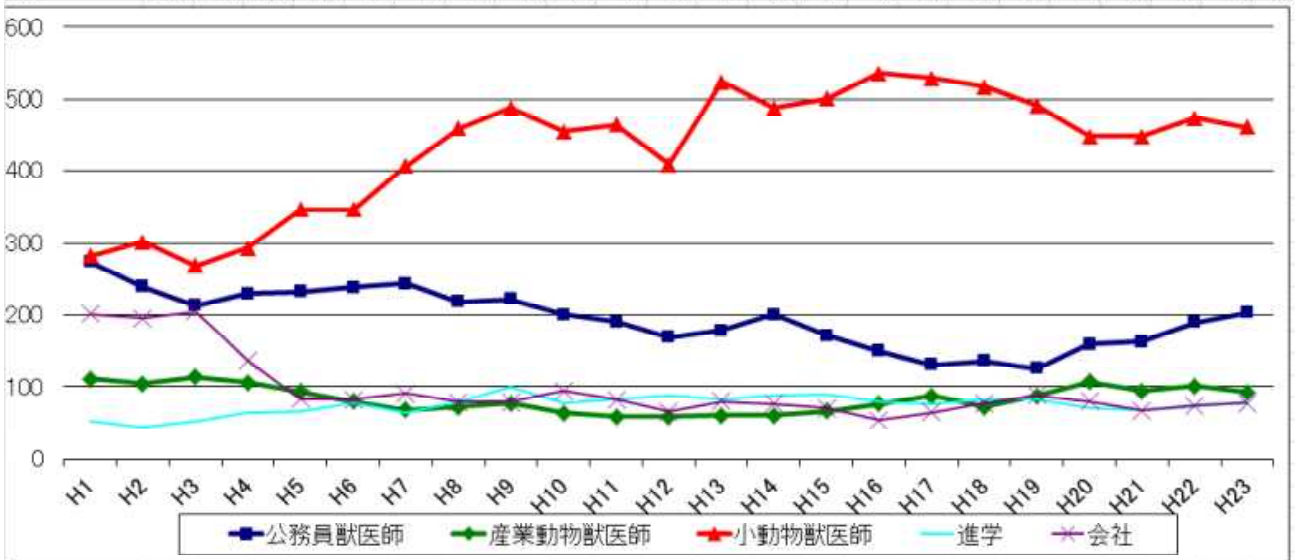
1,113 (100%)	200 18 (%)	84 8 (%)	99 9 (%)	500 50 (%)	63 6 (%)	455 41 (%)	116 10 (%)	222 20 (%)	75 7 (%)
-----------------	---------------	-------------	-------------	---------------	-------------	---------------	---------------	---------------	-------------

※診療獣医師のうち小動物、産業動物診療を兼務している者の数は、双方に計上

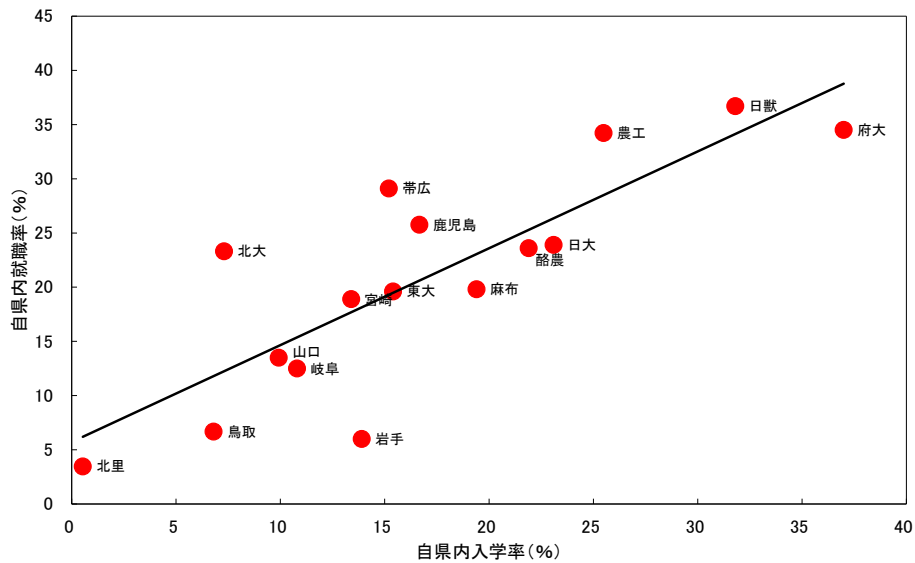
【2. 獣医学部・学科の新規卒業者の就業動向の推移】

○ 公務員分野は平成8年から、産業動物分野は平成5年から低下傾向。但し、近年は回復傾向に。小動物診療への就業者は依然として高い傾向。

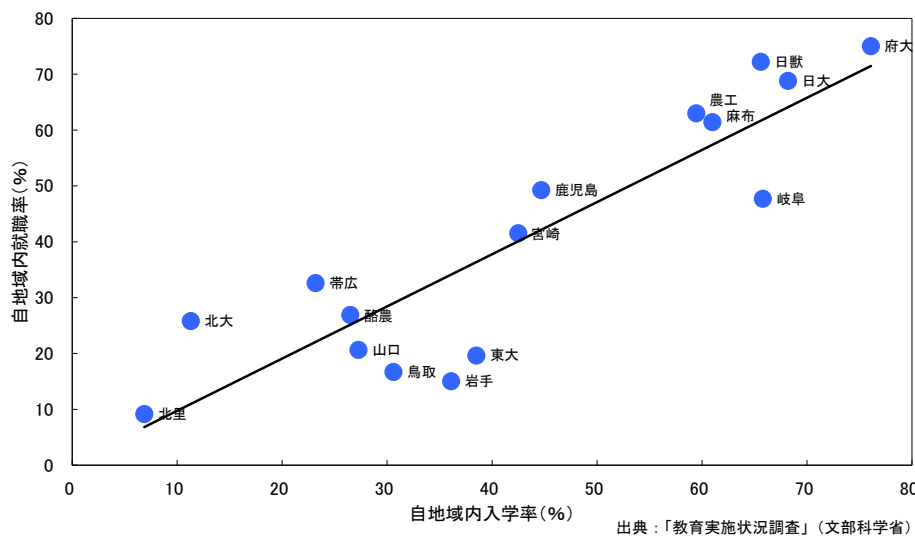
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公務員獣医師	273	239	213	229	232	238	243	218	222	200	190	169	178	200	171	150	131	136	126	159	163	189	209
産業動物獣医師	111	104	114	106	93	80	68	72	77	63	58	58	60	60	66	76	87	72	87	107	94	101	92
小動物獣医師	282	301	268	293	347	347	407	460	488	455	465	409	524	488	501	536	529	517	491	449	449	474	461
進学	52	43	51	63	66	78	64	79	100	78	83	88	83	87	90	80	76	82	83	70	67	72	79
会社	201	195	205	137	83	82	81	79	79	94	82	65	80	76	70	53	64	77	88	80	67	74	77



入学率と就職率との関係についての分析



大学名	所在県
北大	北海道
帯広	北海道
酪農	北海道
北里	青森
岩手	岩手
東大	東京
農工	東京
日獣	東京
麻布	神奈川
日大	神奈川
岐阜	岐阜
府大	大阪
鳥取	鳥取
山口	山口
宮崎	宮崎
鹿児島	鹿児島



大学名	所在地域
北大	北海道、東北
帯広	北海道、東北
酪農	北海道、東北
北里	東北
岩手	東北
東大	関東
農工	関東
日獣	関東
麻布	関東
日大	関東
岐阜	中部
府大	近畿
鳥取	中国、四国
山口	中国、四国、九州
宮崎	九州
鹿児島	九州

出典：「教育実施状況調査」(文部科学省)

1. 自県内入学率と就職率（上）および自地域内入学率と就職率（下）の相関関係を表わしている。いずれも、直近4年間における入学率と就職率の平均値をもとに解析している。
2. 自県内入学率と自県内就職率には、正の相関関係がある（上）。
3. 自地域内入学率と自治域内就職率の間には、より高い相関関係（ $r=0.83$ ）がある（下）。すなわち、自地域の獣医系大学に入学した学生は、自地域に就職する傾向が強いことがうかがわれる。

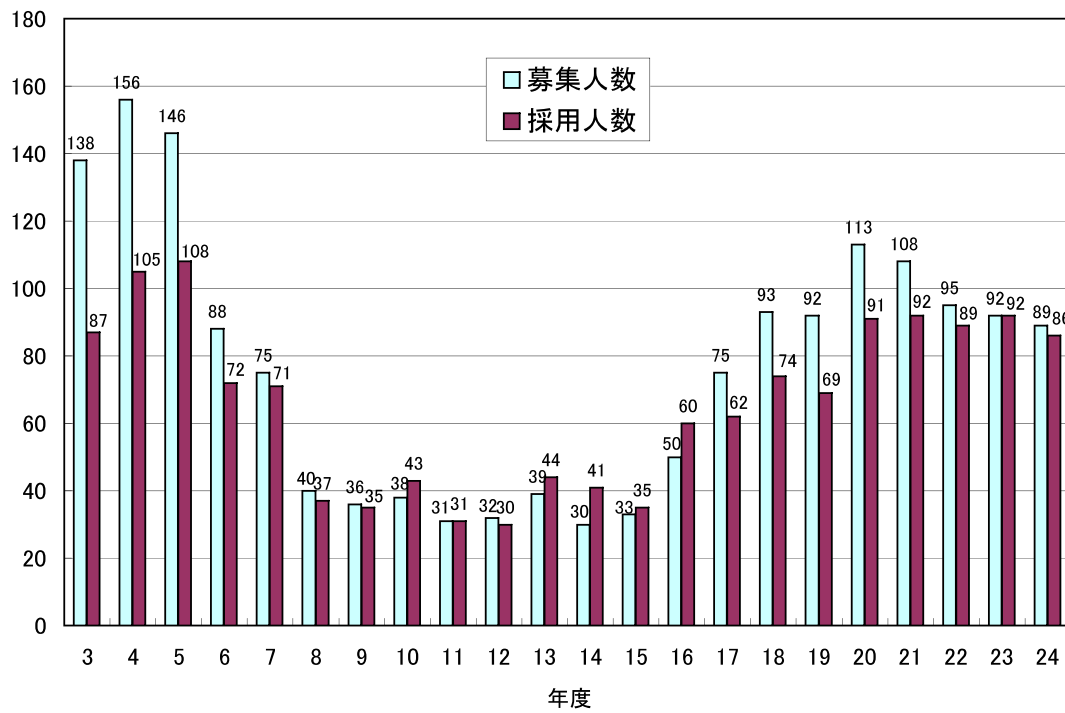
地域性	大学名	自県内入学率	自地域内入学率	自県内就職率	自地域内就職率	出身県への就職率	出身地域への就職率
地方型	帯広	15.2	23.2	29.1	32.6	22.7	34.8
地方型	岩手	13.9	36.1	6	15	26.1	35.2
地方型	鳥取	6.8	30.6	6.7	26.7	29.3	40.7
地方型	山口	9.9	27.3	13.5	20.6	23.8	41.3
地方型	宮崎	13.4	42.5	18.9	41.5	25.5	49.1
地方型	鹿児島	16.7	44.7	25.8	49.2	28.8	52.3
地方型	酪農	21.9	26.5	23.6	26.9	32.2	32.2
地方型	北里	0.5	6.9	3.5	9.2	39.2	61.8
平均		12.3	29.7	15.9	27.7	28.5	43.4
標準偏差		6.5	12.0	9.9	13.3	5.3	10.2
都市型	北海道	7.3	11.3	23.3	25.8	12.9	26.5
都市型	東京	15.4	38.5	19.6	19.6	10.9	15.2
都市型	農工	25.5	59.4	34.2	63.0	20.2	24.3
都市型	岐阜	10.8	65.8	12.5	47.7	30.5	50.8
都市型	府立	37	76.1	34.5	75	35.9	62.2
都市型	日本	23.1	68.2	23.9	68.8	36.2	64.5
都市型	日獣	31.8	65.6	36.7	72.2	37.8	57.1
都市型	麻布	19.4	61	19.8	61.4	40.5	62.2
平均		18.4	48.8	25.6	50.7	28.1	45.4
標準偏差		11.9	27.7	8.7	21.9	11.8	20.0

赤字は都市と地方で差がある項目数値、青字は差がない項目数値

1. 札幌、東京、名古屋、大阪近郊の8大学を都市型、それ以外の8大学を地方型（農村部に近い）と分別して、直近の4年間の入学率と就職率を比較した。
2. 自県・自地域からの入学率は、地方の大学（3割弱が自地域内の出身者）よりも都市の大学（半数弱が自地域内の出身者）で高い。自県・自地域への就職率も、地方の大学（4分の1強が自地域内に就職）よりも都市の大学（約半数が自地域内に就職）で高い。都市部の大学は、自地域からの入学者が多く、自地域へ多くの獣医師を送り出している。
3. 出身県への就職率、及び出身地域への就職率は、都市型と地方型の間で大きな差はないことから、出身地・出身地域に就職を求める学生の割合は、都市部の大学と地方の大学で差はないといえる。

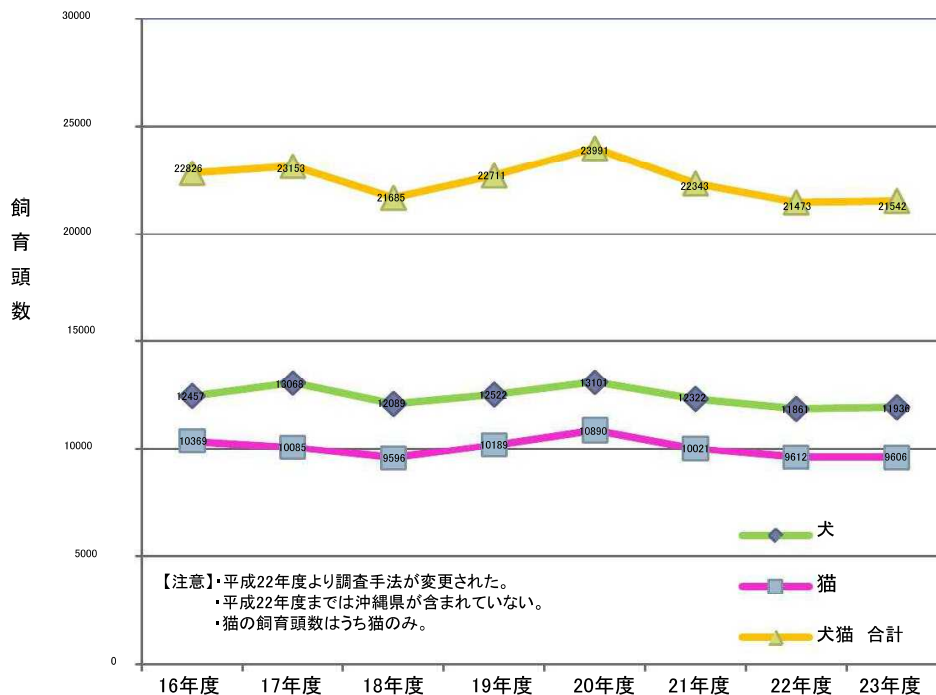
農業共済団体の獣医師採用状況

人



出典：全国農業共済組合 獣医師職員採用に係る調査結果（平成24年）

犬猫の飼育頭数の推移(推計) (単位:千頭)



資料：全国犬猫飼養実態調査（一般社団法人ペットフード協会）

出典：畜水産物安全確保の取組（平成24年4月農林水産省）

産業動物飼養の動向について

乳用牛

	飼養戸数(千戸)	飼養頭数(千頭)	1戸当たり頭数(頭)
昭和60年	298	2,587	8.7
平成2年	232	2,702	11.6
平成7年	170	2,965	17.5
平成12年	117	2,823	24.2
平成17年	90	2,747	30.7
平成22年	74	2,892	38.9
平成23年	70	2,763	39.7
平成24年	65	2,723	41.8

肉用牛

	飼養戸数(千戸)	飼養頭数(千頭)	1戸当たり頭数(頭)
昭和60年	298	2,587	8.7
平成2年	232	2,702	11.6
平成7年	170	2,965	17.5
平成12年	117	2,823	24.2
平成17年	90	2,747	30.7
平成22年	74	2,892	38.9
平成23年	70	2,763	39.7
平成24年	65	2,723	41.8

豚

	飼養戸数(千戸)	飼養頭数(千頭)	1戸当たり頭数(頭)
昭和60年	83	10,718	129.1
平成2年	43	11,817	272.3
平成7年	19	10,250	545.7
平成12年	12	9,806	838.1
平成18年	8	9,620	1,223.30
平成22年	7	9,899	1,436.70
平成23年	6	9,768	1,625.30
平成24年	6	9,735	1,666.90

採卵鶏

	飼養戸数(千戸)	飼養頭数(千羽)	1戸当たり頭数(羽)
昭和60年	123,100	127,596	1,037
平成2年	86,500	136,961	1,583
平成7年	7,310	146,630	20,059
平成12年	4,890	140,365	28,704
平成18年	3,530	136,425	38,547
平成22年	3,110	139,910	44,987
平成23年	2,930	137,352	46,878
平成24年	2,810	135,477	48,212

出典:「畜産統計」(農林水産省)

「獣医師の需給に関する検討会報告書」（平成19年5月農林水産省）（まとめの概要）

- 獣医師の需要については、総体として、小動物の年間診療回数及び診療の効率化の動向により変化し、獣医師の超過と不足の双方が生じる可能性がある。
- 産業動物診療獣医師は不足するものと推計されたが、原因は、活動分野間の偏在であり、偏在が発生する要因等を分析し、これを是正する取組みを強化すべきとしている。

【報告書本文「5. まとめ」抜粋】

必要獣医師数は、産業動物獣医師については約4,000人で一定であるが、小動物診療獣医師については、犬猫1頭当たりの年間診療回数及び小動物診療施設における診療の効率化の動向により変化することが予測された。

この結果、犬猫の健康管理に対する犬猫の飼育者の意識等が今後変化せず、犬猫1頭当たりの年間診療回数が現状より伸びないと仮定した場合においては、需給は均衡するものと推計されたのに対し、今後犬猫1頭当たりの年間診療回数が10%及び20%増加すると仮定した場合においては、総体として1,600人ないし3,500人程度必要獣医師数が供給数を上回るものと推計された。

一方で、小動物診療施設における診療の効率化が進展した場合においては、犬猫の年間診療回数が現状値で推移する場合には、総体として1,000人から1,300人程度獣医師の供給数が必要獣医師数を上回るものと推計された。犬猫の年間診療回数が10%増加すると仮定した場合においては、総体として需給は均衡し、20%伸びると仮定した場合には1,900人程度必要獣医師数が供給数を上回るものと推計された。

産業動物診療獣医師の供給は、家畜の飼養頭数について政策目標値を勘案するか否かにかかわらず需要を下回り、産業動物獣医師の不足が発生するものと推計された。その原因は、獣医師の活動分野間の偏在であり、現状では新規参入者の過半数が小動物診療分野を活動分野として選択しており、今後の新規参入者の小動物診療分野への集中が進むものと予測されるためである。同様に畜産分野、公衆衛生分野等の公務員獣医師の確保も今後さらに難しくなっていくものと考えられる。

したがって、今後、特に産業動物診療獣医師の不足により、地域において適切な獣医療が提供されないこと等の事態を回避するため、新規参入する獣医師の過半数が小動物診療分野を活動分野として選択し、他の獣医師の活動分野における獣医師の確保に支障が生じる傾向にあること等獣医師の活動分野や地域の偏在が発生する要因や獣医師免許保有者の一定割合が獣医事に従事していない要因をより詳しく分析し、必要に応じこれを是正する取組みを強化すべきである。

また、このような獣医師の活動分野間、地域間の偏在の是正は、平成22年を目途に農林水産省において定める獣医療法に基づく獣医療の提供体制の整備のための基本方針の策定や各都道府県における獣医師の確保に関する目標等都道府県が定める獣医療提供体制整備基本計画の策定の検討の際に十分考慮されるべきものである。

（注）平成25年7月末現在 44道府県が獣医療提供体制整備基本計画を策定済み